

# 環境生態学

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：選択 履修年次：1 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・竹原明秀

科目担当者（職位・氏名）：

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：7

## ■ 授業概要

あらゆる生物種は互いに協力・影響し合い、また食物連鎖のなかで存在していることと外的環境を含めた生態系を理解した上で、人間の生活と環境の関わりを中心に、環境の働きと環境の変化がもたらす人間の健康生活への影響に関する知識を修得できるよう教授する。その上で、現在の生活環境の課題とその対応策について考察を深められるよう講義する。

## ■ 到達目標

1. 様々な環境があることと生態学の体系について理解し、説明できる。
2. 生物がつくる社会とそこで生活する生物たちに潜む関係性について理解し、説明できる。
3. 地球環境の変遷を理解し、人間活動との関わりについて説明できる。
4. 人間の健康生活に関わる環境とこれからの環境作りについて説明できる。

## ■ 教育内容

科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解

## ■ キーワード

環境、個体群、生態系、生物多様性、適応、環境問題

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	環境と生態学	様々な環境の存在とそれを把握する手段の生態学を学び、最後に小テストで確認。	竹原
2	生物個体群の成長	生物個体群の齢やサイズ構造、生存曲線、平均寿命を学び、最後に小テストで確認。	竹原
3	生物間の相互作用	競争する生物が共存するしくみ、寄生や共生などを学び、最後に小テストで確認。	竹原
4	生物群集と生態系	生物の多様性と安定性、食物連鎖と物質循環を学び、最後に小テストで確認。	竹原
5	環境と生物の適応・進化	繁殖方法の多様性や性淘汰での生物の進化を学び、最後に小テストで確認。	竹原
6	地球・生物圏の変遷	地球環境の時代的変遷と人類の出現、日本の自然環境と生物相の特性を学び、最後に小テストで確認。	竹原
7	人間と生物・生態系	人類の環境への負荷、環境変化が人間の健康生活へ及ぼす影響を学び、最後に小テストで確認。	竹原
8	人間的な環境とまとめ	人間と環境・生物が共生できる環境作り、これからの生活環境を考察し、最後に小テストで確認。	竹原

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 成績評価方法

期末試験 60%と小テスト 40%により評価する。

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・授業の最後に小テストを行い、次回の授業時に解説を行う。
- ・期末試験は、試験後に採点基準と解説を学生用ファイルサーバにアップロードする。

## ■ 教科書

事前に資料を配布するため、教科書は使用しない。

## ■ 参考書・参考資料等

参考書は授業時に紹介する。

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ 90 分程度を充てる。事前学修では、指定された範囲の資料を読み、内容等をノートにまとめ、重要な用語等は調べる。事後学修では、授業内容が理解できているかを資料とノートを用いて確認する。

## ■ 担当教員からのメッセージ

人間と共に生活している身の回りにいる多くの生物たちや自然・生活環境に興味を持ち、そこに潜む法則などを知ること、我々の生活はより豊かになっていくと思います。何事にも興味を持ち、疑問があれば、手を挙げて質問して理解を深めてください。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

学務課へお問い合わせください。

■ 担当教員の実務経験の有無

無

■ 担当教員の実務経験

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容